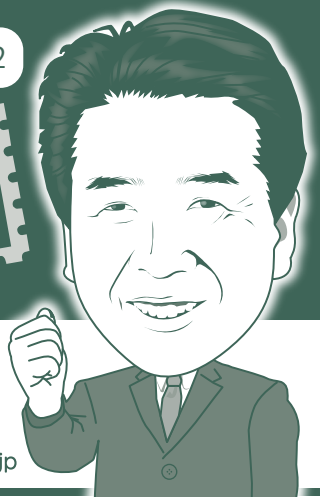
札幌市議会 市政報告 vol.21 2020.2

林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
http://hayashi.main.jp/ hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

2020年度札幌市予算を審議
第1回定例市議会開会中

２月18日より第１回定例市議会が開かれています。主な議案としては新年度予算案並びに条例改正案などとなります。

新年度予算は秋元市長２期目の初の本格予算であり、「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」で2022年までに実行する施策などとも関連させ、次の世代の札幌市のまちづくりの基盤となる予算となります。

197万人の大都市札幌ですが、市内の出生率は低下しています。更に若い世代の流出は増加し、道内からの高齢者流入が増えている中で、市民生活を守り、市内経済の活性化を進めていく難しい状況となっています。

これまでも会派として、若者の雇用対策、首都圏からのＵターン並びにＩターン対策など札幌に若い世代を増やす施策の充実と、若い世代が札幌に定着することを目的に、保育園の増設、保育士の処遇改善など子育て環境の改善も求め提言してきていますが、大きな効果を上げることはできていません。また、予算における社会保障費関連も増えており、効果的な予算執行が求められています。

また。今年実施される東京2020オリンピック・パラリンピックのサッカー予選、競歩及びマラソン競技の成功のための施策も必要となります。観光都市札幌をアピールして、観光客など札幌への来訪者を増やすために、札幌の魅力アップとバリアフリー化なども取り組む必要性が高まっています。

私は今後も札幌市の持続的発展、北海道の中心としての役割発揮、市民生活の安心安全、など札幌に住み続けることができる環境づくりを進めていきます。

「市民が主役のまちづくり」「市民の声を市政に届ける」、市民自治の原点をさらに進めていくことが大事になっています。ぜひ皆様の声を聴かせていただきたいと思います

札幌市議会議員　林　せいじ

令和2年度予算の概要

一般会計予算　1兆2955億円

（前年比0.7％増）

予算編成の考え方　「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の二つを大きな目標としています。

健康寿命延伸の取組

◆特定健康診査等事業（国民健康保険会計）【拡充】（852百万円）

国民健康保険加入者（40歳以上）の生活習慣病予防のための健康診査と保健指導の実施及び受診率向上に向けた取組みの強化

◆健康寿命延伸関連【拡充】（50百万円）

30～50歳代の働く世代向けの健康行動の継続についての研究や各区で実施する健康寿命の延伸推進に資する取組みを強化するほか、歩きたくなるまちづくりを推進

◆受動喫煙対策推進【拡充】（11百万円）

さっぽろ受動喫煙防止宣言に基づく受動喫煙対策の推進、健康増進法に基づく指導、禁煙外来受診者に対する助成の対象を子育て世帯から全世帯へ拡充

住み慣れた地域で生活するための取組

◆住宅確保要配慮者居住支援【新規】（13百万円）

高齢者等のための民間賃貸住宅への円滑な入居に係る相談窓口運営等

◆介護給付（重度訪問介護）【拡充】（4,405百万円）

重度障がい者に対するヘルパー派遣、個々の状況に応じて必要な介護時間数を決定する「非定型」の導入

◆在宅医療・介護連携推進事業（介護保険会計）【拡充】（17百万円）

医療と介護の両方が必要な高齢者を適切な関係機関へつなげられるよう、在宅医療と介護の連携に関する相談窓口機能を強化

子ども関連予算

子ども関連の予算として1,971億円を計上（国の補正等に伴う前倒し計上分を含む）

◆子ども育成・子育て分野の増（対前年度比＋3.3％）

保育施設への給付費等の増

◆教育分野の増（対前年度比＋6.6％）

※前倒し計上分を含む

学校のICT化の推進及び学校施設の新築等に伴う増

◆福祉分野の増（対前年度比＋2.3％）

障がいのある子どもの通所給付費等の増

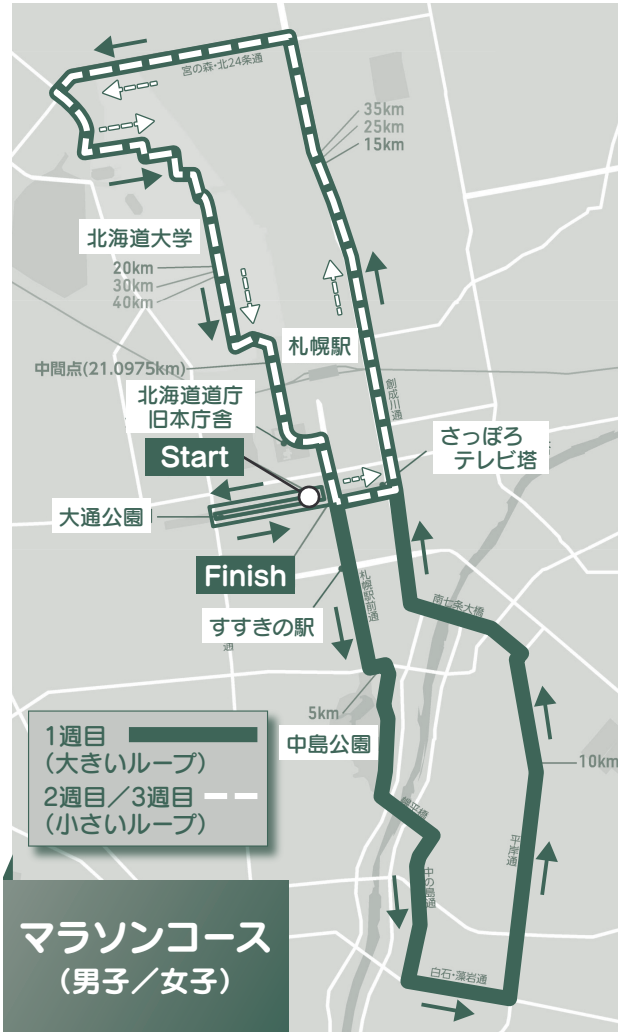
子ども医療助成の拡充に伴う増

H27年度から580億円増額!

東京2020オリンピック・パラリンピック開催

札幌ドームでのサッカー予選に加えてマラソン競歩の開催が決定しました。
成功に向けて準備を万全に行う必要があります。

マラソンは北区を中心としたコースとなっています。沿道で選手を応援しましょう!!



◆東京2020オリパラ関連【拡充】(806百万円)

東京2020大会のサッカー、マラソン等の開催

- ボランティアや沿道応援の促進
- 競技観戦のためのライブサイト・競技イベント
- 首都圏における札幌魅力発信PR

◆冬季オリパラ招致関連【拡充】(317百万円)

冬季大会招致に向けた機運醸成、各種検討

- 招致機運の醸成や小学生向け教育推進
- 開催概要計画の更新、調査検討など
- 都心部におけるクロスカントリースキー大会の実証実験

林せいじ活動報告

項目は下記の11項目

①北海道胆振東部地震を踏まえた取り組みについて
②財政問題について
③児童相談所の体制強化について
④高齢化するひきこもり者対策について
⑤観光施策について
⑥札幌国際芸術祭について
⑦都心アクセス道路について
⑧森林経営管理法の施行に伴う今後の対応について
⑨札幌ドームの今後の在り方について
⑩再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取り組みについて
⑪篠路駅周辺のまちづくりについて

2019年9月24日
第3回定例会で代表質問を行いました

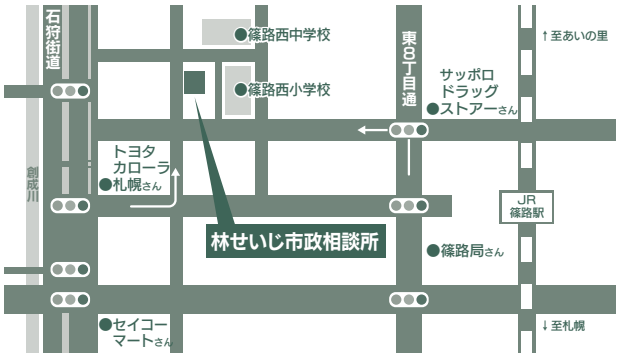
「高齢化するひきこもり対策」については、50歳代のひきこもり者を80歳代の親世代が生活を支える「8050問題」が札幌においても多くあり、今後の対策づくりを求め、市からは「より効果的な支援体制を検討したいと」回答を引き出しました。

「都心アクセス道路」に関しては、市民理解を得るための取り組みが不足している、国が主体の事業ではあるが、受け身の姿勢ではなく積極的に市民の声を聞くべきと求め、市からは「国が検討している最新の状況を分かりやすく示し、市民意見が反映されるよう取り組む」と回答を得ました。

「再生可能エネルギーの普及拡大」については市有施設に太陽光発電設備を積極的に設置するよう求め、「民間活力により太陽光発電の設置を検討し、市施設への太陽光発電設置を進めていく」と回答を引き出しました。

「篠駅周辺のまちづくり」については、地域住民や民間事業者の意向把握に努めながらまちづくりを進めることを求め、「地域協議会の設置、住民参加を進め、地域主体での活力あるまちづくりを進める」と回答を得ました。

お知らせ

市政相談の際は、
お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322